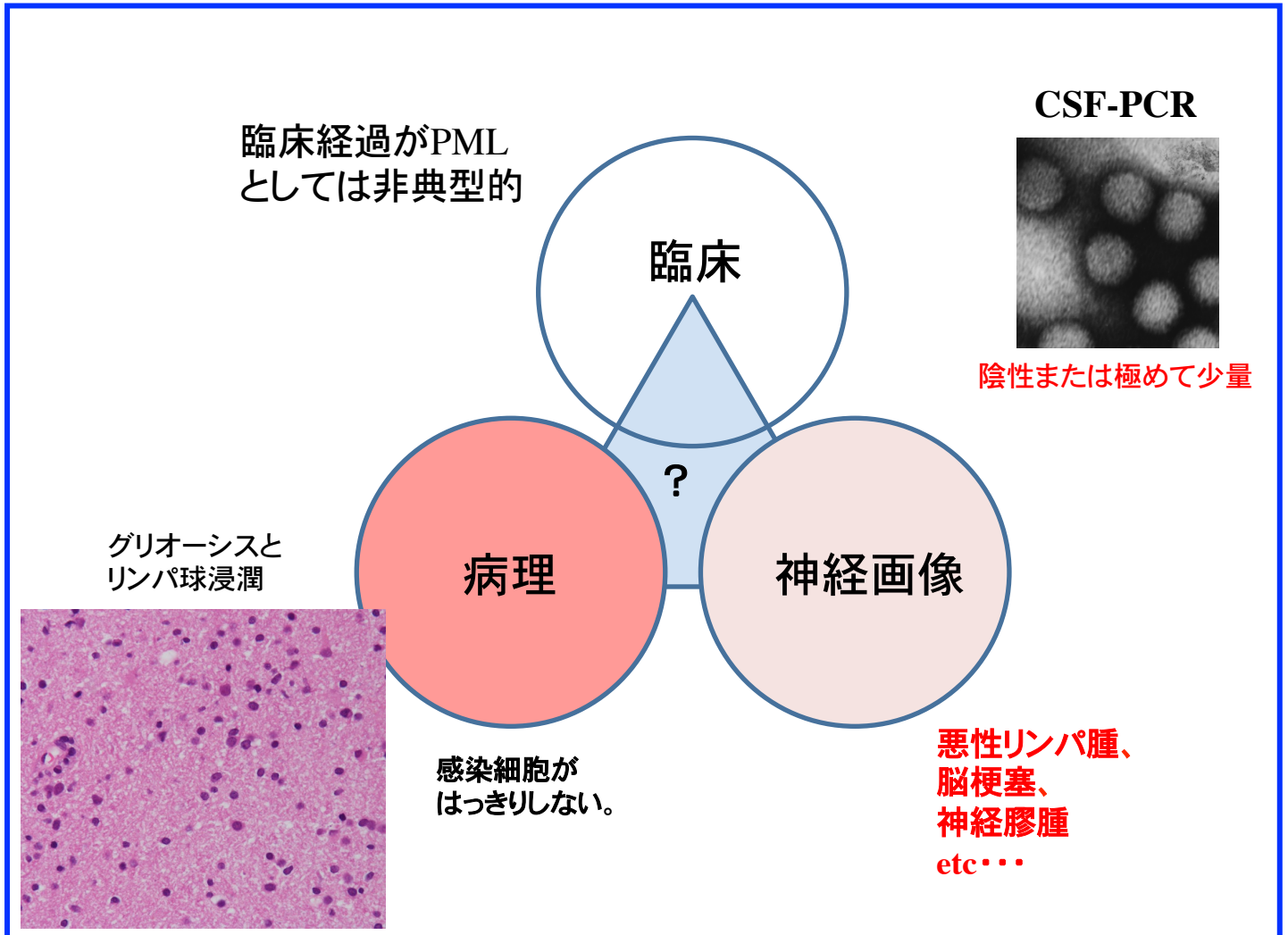


## 進行性多巣性白質脳症の診断

研究分担者： 東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター・人体病理学分野 宍戸-原 由紀子



### 解 説

1. 進行性多巣性白質脳症はJCウイルス感染で起きる脱髄脳症である。
2. 臨床経過がPMLとしては非典型的で、神経画像でも多疾患が鑑別として考えられ、さらにCSF-PCRで陰性または少量のウイルスが検出された場合に、しばしば脳生検が施行される。
3. 病理組織学的には、グリオーシスと炎症細胞浸潤のみで典型的なJCウイルス感染細胞が検出されない場合もあるが、しばしば感度の高いin situ hybridizationで感染細胞が検出され、PMLの診断が確定する場合がある。